

其五册

三十三年

美我號



四月十日
癸卯八月二十九日
晴宮樓

秘密
經濟部



早稲田大学図書館

文書 27

B 77

2



四月十三日 樞密院官舎に電話を爲し思田仰り片々
事務之様を以て尋ねたり

思田曰く是等通事少くは事務少く誤話之件亦分改分なり

夫れは通事不送(送)洋話あり且事務之忠告を以て之を在
りし件は誤話其れを不誤、不誤其れを誤通事之誤話
と云ふ

思田曰く一言なり

子曰く伊藤が冒す事、死活問題、之を解決す則ち世に
井上が昨片に於て是れを駈出起す、是れは伊藤の利本と云
ふ事なり

先次内閣より金谷隆正、大根根波、樞密院員等
一、出外之屋侯、對し、分命を以て、何種何種、制限を
令せざる、伊藤が由、後、伊藤、大根根、等、好む

子と初令者初世と初撰の可なりと云ふ大改と相ひあはるるの
所此より大規模なりは事と承りし為の測定と在れと云ふは其の
元と其と云ふは
月十七日勅令ありと云ふ御旨に御照し御成程を相成調定せしめ
余は御領を成程下屋領と相し候と云ふは其の事ありと云ふは其の事
に御成程を御領と事と事と云ふは其の事ありと云ふは其の事あり
一は御成程を御領と事と事と云ふは其の事ありと云ふは其の事あり
ありは其の事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事あり
其の事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事あり
且先事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事あり
其の事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事ありと云ふは其の事あり

抑三十年金貨本位に我政府は是れ大改撰と為すモ、此の當時
支那戦争のあり勝つ三億圓、償還の收得は其の内由に於て
其軍艦賠償、銀座一億圓あり、金貨の獲得は其の内由に於て
倍割りのあり、且金貨の償還は其の内由に於て倍割りのあり、
其消費は他術のあり、其のあり

昭和十三年四月
 通關年手

	圖第十四	四萬五千六百餘	金	
八百萬圓	千五百萬圓	千萬餘圓	五千餘萬圓	三十九年
		七百萬圓	輸入超過	三十九年
		五萬圓		三十九年
		一億一千餘萬圓		三十九年
		五萬圓		三十九年
				三十九年一月
				二月
				三月
				四月

正貨金銀の輸出超過は二月末迄に
 六百三十五万七千九百三十四
 圓に上り形勢正貨の流出亦甚なり
 本年一月以降日中及び正貨準備高漸
 減少の勢を察せられ、流通收縮の屋敷に
 逼進するに依り、橋本方は此を極力
 防ぐに努むるに決す。

此身生糸羽二重輸出額
 大に増加せり

此分四月十日後遺戻戻り留同ノ在積金

と云ふ所見を以て、近年の頃況を主として觀するが

外國の輸出豫想

英國の購買力、或は、極東に流るる

米國の購買力、或は、極東に流るる

佛國の購買力、或は、極東に流るる

生絲の二重、或は、極東に流るる

石炭の二重、或は、極東に流るる

製糖の二重、或は、極東に流るる

棉花の二重、或は、極東に流るる

三十三年四月

王相

金

金

輸入

一五十四萬二千五百

一六千九百九十四

一七千七百七十七

三十二年 今、一億九千九百九十九

廿 五月

金貨在位戦ノ器械ヲ器械精良ニシテ戦利ヲナス
 農工商ノ謀計術業ヲ計策講究セザレバ全功ヲ

奏スル可キ

抑、歐洲諸大國金貨國タル以上、^{日本}将来其域ニ進出セシ
 トシテ、^{日本}片成ニ銀貨國ヲ變シテ必ズ至急ニ金貨國ニ
 為サレトシテノ熱望也。自今ニテ共ニ在職ニ在リテナリキリ如何
 ナレトヤ。年頃ニテニテ年頃ニテ銀紙交換ノ策ヲ立テテ千餘萬
 ノ銀ヲ吸收スルニテ辛苦經營ノ勞ヲ既テ荷物増ホリテナリテ漸
 リテ其功ヲ收ム今ニテ金貨ニシテ第一金貨ニ倚ルニテ廣クナリテ

銀貨、初カノ没ラズ、海外貿易ヲ謀リ、便利ヲ歎キ、内國經濟、
權能ヲ變スル、其利害、熟シク辨知スル、若シ先カ貨幣調査
會ヲ設立シテ、之ヲ議亮スル、若キセリ、故ニ余ハ金貨、海ニカズ、又
銀貨ヲ造シ、排銀子セヨリ

俄然日清、役リ、金貨ヲ收メ、之ヲ在位セシム、當時ニ藏相、銀貨
備有、物價高ク、排銀子多シ、金貨、物價騰貴、之ヲ明カセ
リ、此著ノ事、日下、物價騰貴、對シ、不明、諒ラズ、之ガ

且東洋銀貨國、中、初、日存、擬、按、金貨國、歐洲ノ流
目ニ所、此ニ集リ、貿易商賣、百方、經營、此金貨ヲ吸收

セント欲スル、物價、免レシ、所、リ、然レ、輸入、所、外品、漸、加リ
侵入シ、輸出、所、物產、退縮、遂ニ、或、競、多、者、ガ、
驅逐、セリ、之、ク、ヨ、出、然、レ、現在、存、身、如キ、一月、二月、三月
之間、輸入、超過、既、三、千、二、百、萬、圓、達、シ、五月、一、千、萬、圓
平均、正、貨、六、千、二、百、萬、圓、一、月、四、百、萬、圓、平均、溢、出、セリ
存、身、一、月、中、日、存、銀行、貯蓄、準備、金、一、億、一、千、萬、圓、處
最早、存、月、九、千、八、百、萬、圓、ト、一、大、恐慌、セル、ベシ、ヤ
然、大、藏、大臣、岩、倉、ト、シ、此、大、事、當、ラ、一、計、ヲ、講、ビ、一、策、ヲ
施、ス、其、物、ト、一、改、メ、議、ス、ル、小、カ、細、ヲ、用、ヒ、第一、日、存、銀行、)

金利ヲ引キ上テ購買力ヲ減シテ外品輸入ヲ抑ヘ金貨ノ溢出
 ヲ防遏セシム。如何ニ第一國內農工商ノ作業ヲ妨シ金
 利上騰為テ物産ノ繁殖スルノ資存ヲ傷ル前ニ所謂
 戦ノ器械未ク精良ナラサル中ニ計謀術策其方
 ヲ失フ是ヨリ為將ト特ニ憂ヒ松ノ高スベシヤ

金利引上ノ原因ニ英國ノ杜撰ニ於テ戰役ノ為ニ一時中央銀行ノ金
 利ヲ引上ルガ為ニ之ニ慕倣セリ是等ノ事漸ク歐洲ニ波及シ
 日本ニ及ブニ最後ノ時期ナリ然レニ中央銀行ノ先鞭ヲ着シ農工
 商ノ機關ニ中央銀行ノ金利ヲ引上テ各銀行ヲシテ之ヲ模倣

セシム之ヲ經濟ノ策ヲ得ルト言フベギガ且ツ夫レ小計施テ
 金貨防止ノ為ニ已ニ輸入物品超過ノ二千萬圓ノ早見
 換券ノ正貨ト交換スル幣ノ免レテ所ナリ於テ我カ
 物産ノ歡迎待セシムルノ軟弱ノ昨午ノ如ク生絲羽ニ重寄テ
 責擔キルニ憂慮モ少ナイガ已ニ今年ニ然リ買方必シ歐
 米トモ或ハ出征ト博覽會ト大統領代理ト各自自國
 運動ニテ海外貿易ノ道後手ノ屬カカ勿論毎年上
 半期如此ノ景況アリテ下半期好況申シテ一概上半
 期ノ荒況ヲ為スハハラスト雖モ實際有限ノ正貨無限
 ノ超過ニ敵スハハラス此時大藏主權者ノ一計一策ヲシテ只

自然、天候に付スヘララ花時より百方苦心経畫スヘキナリ
曰、然る則一計策ヲ抱クモノ之ヲ傍觀默過スルモノ非ハ
之ヲ如何キ忠告セザル

曰ク余ヲ目シテ無情ト做ス余片松方ニ向テ之ヲ言フ能ハル
ナリ今詳ク其理由ヲ述ビテ決シテ之ヲ人ニ語ル勿レ松方
ノ屢變心ヲ余ハ已メ國士ヲ以テ松方ヲ目セズニ十七年日
清ノ役終結之際シ松方戰時ノ經濟ニ對シ大藏
主事シ望ム余ハ廣島ノ臨時議會會終リ内國債募集
結了シ當時異議ナラ松方ノ現職ヲ讓リ逋信ノ橋ヲ
就ク松方ノ閣ヲ去リ首相退職後ノ再任ナラ董

キ 詔勅ヲ以テ藏相ニ親任セラレタリ 右ノ時ノ經濟

ノミナラズ戰後ノ經營ヲ包含シテ將來財政ノ整理
理ヲ亦伴フタリ然レニ馬關媾和ノ償金額ノ見

ツ有レ 松方閣向テ大任係任スル時ニ時勢ノ變フカ
戰後ノ不快ヲ不快ニ評表リ行ハズ 臨時議

會ヲ召集シテ 戰後ノ經畫ヲ為シテ 伊予縣 経理
意見ヲ抱キ 突然辭表ヲ出シテ東京ヲ去ル此到

聖者、各ヘテ盡カマシテ 書翰ヲ以テ忠告を毛不

承諾ニテ尚退避先キヨリ書翰ヲ以テ返答シ許諾
之^事此到リ断然決意再々藏相ノ任ヲ拜シテ
就職シ十年経畫ノ軍備ヲ立テ諸税ヲ増加シ
第九回ノ帝國議會ニ於テ協賛スルボリ然
松方大坂ノ實業家ヲ集メテ十年経畫
財政ノ不利益ヲ明言セリ右ノ如ク表裏
及覆確メ所之ヲキ故ニ最早國士ヲ以テ遇スヘキ人
トラス況ンマ日清戰軍ノ當初 不同意リシ海陸
戰勝能途ヨリ做シ助言ヲ藏相ヲ切望ス等ハ之ヲ
其^運和^運和^運

私交ニ依リ維持存續スルモ

何ニト可申ヤ國家ノ大事ハ不可諾ト決心セリ右ノ如キ事
情^存今面ノ財政^存對シテ松方^存對シ一言忠告ノ義
務^存有セズ然レ雖モ今面ノ事ハ國家存亡ノ死シ
歎^存シタルニ^存國民^存憤^存懣^存慮^存才^存時^存々^存安^存居^存ス可^存ラス仍^存テ
伊藤井上^存教席^存ヲ重^存キ^存忠^存告^存慮^存有^存限^存リ^存腹^存心^存
ヲ明^存ケ^存テ^存陳^存述^存是^存非^存松方^存忠^存告^存敢^存シ^存吳^存ラ^存シ^存友^存嗎^存托^存
セシヤリ而^存子^存山^存口^存第^存縣^存中^存ニ^存ハ^存京^存日^存ハ^存何^存カ^存奉^存勤^存
アラシ祖^存祖^存救^存濟^存ノ^存策^存現^存時^存極^存急^存ト^存永^存遠^存濟^存世^存ト
ニ^存端^存ノ^存介^存ケ^存テ^存意^存見^存ラ^存ス^存ヲ^存伊^存藤^存ハ^存考^存慮^存中^存ニ^存井^存上^存

實、刻苦周旋、演說勉強、此六一國、大是の定、
 大、
 山、
 薩州、
 足下、
 井上、
 日、
 日、

日、
 國、
 日、
 日、

三十三年四月

貨幣

私見調査

日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月	
銀行の設立に民間隱匿、正貨の吸收して正貨供給	或、銀貨の増出、或、洋銀取引の設、又、棉、海、正、金	當時の之に紙幣、不為せしむる、銀貨の騰貴に、り、為シ	不換紙幣濫發、結果紙幣銀貨の價値、差違、生、ズ、ト、シ	一國、經濟界、殆、ト、危、急、形、勢、推、移、ハ	結果、農民奢侈、惡風、煽、り、高、工、業、者、松、機、の、空、塔、を、驅、逐、ス、ル	死、為、り、物、價、が、騰、貴、正、貨、愈、々、溢、出、シ、貨、物、輸、入、の、輸、出、に、超、過、シ、其	銀行紙幣亦頗増加シ、紙幣、不、為、愈、々、息、激、ナリ	加、シ、九、年、八、月、國、立、銀、行、條、例、の、改、正、アリ、シ、リ、銀、行、新、設、必、カ、其、發、行、ノ		
				十三年						

日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月	日月
同時、引換準備金、正貨の増強、圖、兌、換、券、發、行、特、權、を、專、有	紙幣價格、不、為、り、救、済、ス、ル、之、ヲ、紙、却、シ、流、通、紙、幣、為、り、減、少、シ	松方正義大藏卿、ト、為、リ <small>此時、與、村、田、等、大、隈、參、議、ノ、歸、來、ニ、シ、テ、之、ヲ、驅、逐、ス、ル</small>	本位制、一、轉、シ、金、銀、被、存、位、制、ト、ス、リ、狀、況、ヲ、之、ニ、實	我國貨幣制度史上、一、變、機、ナリ	貿易、銀、壹、圓、銀、ヲ、内、地、一、般、に、通、用、セ、シ、ム、此、時、より、金、貨	紙幣、銷、却、シ、着、手、ス	於是、漸、々、根、本、的、救、濟、策、ヲ、施、ス、外、他、々、存、貯、ス、道、理、ヲ、發、揮、シ、テ	騰貴の制止、シ、テ、之、を、不、能、止、正、金、銀、の、殆、ト、破、産、域、ニ、沈、ム	
		十四年			十五年	十三年			

日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月

三十三年四月廿日於留錄考案

日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
		三十三年						明治十年	西南戰爭						
		二十八年						十年	輸入增加 燒毀幣						
		二十九年						十一年	外債開始 償還開始						
		三十年						十二年	紙幣下落 市中不在						
		三十一年						十三年	紙幣發行 松方有為						
		三十二年						十四年	紙幣發行 松方有為						
								十五年	紙幣發行 松方有為						
								十六年							
								十七年							
								十八年							
								十九年	紙幣發行 松方有為						
								二十年	紙幣發行 松方有為						
								二十一年	紙幣發行 松方有為						
								二十二年	紙幣發行 松方有為						
								二十三年	紙幣發行 松方有為						
								二十四年	紙幣發行 松方有為						
								二十五年	紙幣發行 松方有為						
								二十六年	紙幣發行 松方有為						
								二十七年	紙幣發行 松方有為						
								二十八年	紙幣發行 松方有為						
								二十九年	紙幣發行 松方有為						
								三十年	紙幣發行 松方有為						
								三十一年	紙幣發行 松方有為						
								三十二年	紙幣發行 松方有為						
								三十三年	紙幣發行 松方有為						

易

十九年

一月政府銀紙の交換行ヒミタコレハ政府當職既ニ苦心致シテ苦勞經營イリシレバ
不得已此銀トテ所テ交換ヲ始メシタレバ其銀ハ時々相場ハ動キ遂ニ如何ニ結
果シ生ルヤト當時當職ノ者苦心ノ折リ

銀米各國金銀ノ就キテ種々ノ議論シミテ各國ノ制度ノ立テ方カ時々相場ガ

動變化シテ来ルヨリ景況デアリ

一明治六年ノ頃より獨ニ金本位ヲ折然行ヒミタ引續テ瑞典 諾威 丹麥 行ヒ

羅甸同盟國ハ銀貨ノ自由鑄造ヲ禁ズルニテ其度其銀ハ下落シ

或ハ又實際ニ於テ各國於テ銀ノ排斥ニ登相成リ金ヲ吸收スル策ヲ講ルル

ト實境ニ移ル

畢竟原田アリタ

一明治初年ノ頃世界中銀ノ產出六千萬トシテナリ

近年ハ銀ノ產出一億八千萬トシテ產出上ル

右ニ明治ノ初年時分即チ其貨幣條例制定スル

金一銀十六ニ定リ若クハ近年ニ至ル其倍ニ相成リタリ

一明治三年頃全世界金ノ產出五百萬トシテナリ

今日ハ金ノ產出一千萬トシテナリノ產出ニ至ル

右ニ今日銀ノ相場ハ大變ニ下落ヲ致セリ

銀一先ニ六十何セントナリ邊デアリ今日ハ一先ニ二十九セント

金一
銀三十二三

此内外、落キリ、實際銀、産出、殖元、为世界、各國、既、銀、
 貨幣、存、事、排、作、之、様、相、成、
 明、
 澳、西、太、利、之、貨幣、金、本、位、改、算、ス、リ、引、續、テ、英、國、領、東、印、度、金、本、
 位、御、向、所、之、政策、ヲ、決定、セ、リ、
 俄、然、甚、シ、ク、銀、ノ、下、落、ヲ、告、ケ、タ、リ、
 我、政府、勅、令、シ、テ、此、貨幣、調査、會、ヲ、設、定、ス、
 貴、衆、兩、院、ヲ、介、シ、テ、負、担、定、セ、リ、其、
 會、ニ、於、テ、年、々、リ、タ、リ、
 此、身、貨幣、調査、會、終、了、
 會、ニ、於、テ、年、々、リ、タ、リ、

此身貨幣調査會終了

輸出入

二十五年	平均
二十五年	平均
二十五年	平均
二十五年	平均
二十五年	平均
二十五年	平均
二十五年	平均
二十五年	平均
二十五年	平均

此身來輸入代金一千四百萬圓金

此身不作

三十二年五月十九日時事新報

兌換券發行餘力

日券銀行此程未引續キ弗回收金アリ夫レ為ツ一昨日ノ代出シ高ハ

八千四百萬圓ト為リ隨テ兌換券發行總高一億九千四百萬圓ト

減シ發行餘力ハ一千一百萬圓ト増ヨリタリ

